

新郎が結納式を仕切る(1) 肝心な部分は親がする場合

- (1) 新郎親から新婦の親への挨拶
- (2) 結納金をお渡しする
- (3) 新婦側からの挨拶
- (4) 婚約記念品の贈呈
- (5) 新郎から皆様への御礼
- (6) 乾杯

シナリオの流れは上記のような通常通りの流れで問題はありませんが

司会進行ということになりますので

「まずは私の親からご挨拶をさせていただきます」的な言葉で

(1) 新郎親から新婦の親への挨拶

でご自分の親御さんに振ります。

(2) 結納金・目録をお渡しする → 新郎の親から渡す

(3) 新婦側からの挨拶

この辺りは自然と流れに任せて・・・といったところでしょうか。

相手様からお受けしますという返答の挨拶のあと
婚約記念品の交換という流れです。

セリフはこんな感じでしょうか・・・

「今日は私たち二人にとって婚約という日です。
その記念すべき日を記念して、私から○○さんへ指輪を贈呈したい
と思います。」

二人にとっては、結納＝婚約ということで、良い記念になると思いますし、絶好のシャッターチャンスではないでしょうか？
また特に両家の親様にとってその光景は、とても感慨深いものがあるのではないのでしょうか。

(指輪がはまった瞬間一同から自然と拍手が沸き起こる・・・)
かも？

婚約指輪の贈呈に引き続いて、二人が出席者のほうを向いて、ご両親への感謝、決意など二人からの気持ちを素直にお話頂いたらどうでしょうか。あいさつは男性が代表して行います。
結納式のクライマックスの部分です。ここでカッコよくあいさつが決められれば、彼女のご両親はもちろん、彼女も馬渡さんのことをあらためて惚れ直したりなんかして(笑)・・・
あんまりプレッシャー掛けるといけませんね(笑)
あいつはこんな感じでしょうか、

「今日は私達のために、このような席を設けていただきありがとうございました。
今日婚約できましたのは、ご両親のお陰と心より感謝しております。頑張って幸せな家庭を築いていきますので、今後ともよろしくお願い致します。」

(一同から自然と拍手が沸き起こる・・・) かも？

その後乾杯をして和やかな食事会へと進んでいきます。